

震災がれきの広域処理を考える

受け入れることが、被災地のためになるって信じてたのに！！

関口鉄夫（環境科学）講演会

2012年4月21日（土）18:30～20:30

愛媛県男女共同参画センター（旧：愛媛県女性センター）

3F第1第2研修室



入場料 1000円 予約 800円 託児あります（要予約）

主催 ごみを考えるネットワークえひめ

予約/問い合わせ 谷口 電話 090-7626-7449

メール h.t.free.thinker@tau.e-catv.ne.jp

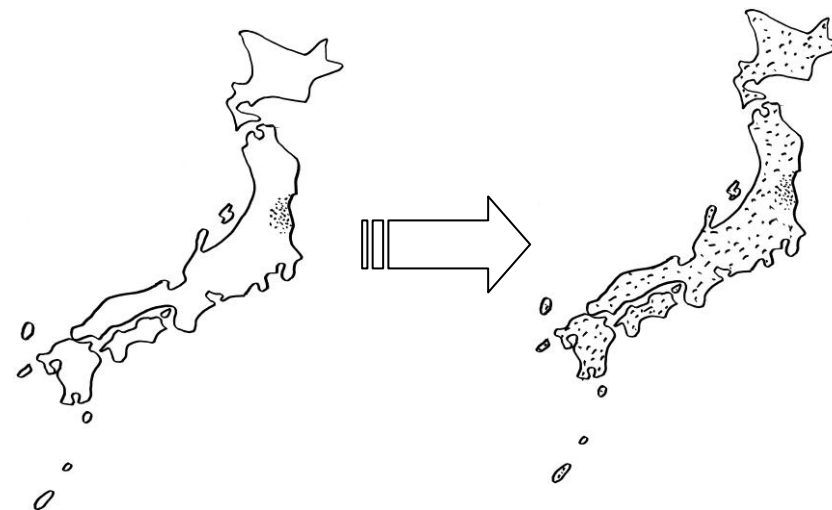
協賛団体 子どもたちの未来を放射能から守る愛媛の会

原発さよなら四国ネットワーク



【関口鉄夫さんプロフィール】

専門：環境科学、内部被曝研究会会員。元信州大学・滋賀大学非常勤講師。雑誌「たあくらたあ」初代編集長。環境汚染や健康被害の調査を続けながら、全国各地の住民運動や裁判を支援。長野県・東京都町田市など多数の公的な委員会の委員を歴任。1999年第8回若月賞を受賞。福島第一原発の事故当初から南相馬市・浪江町・飯館村などの放射線量や健康調査を続けている。



< 私たちの疑問 >

- 被災地の復興の為に広域処理が本当に必要なの？
- 実際のところ被災地のがれき処理はどうなっているの？
- 放射能で汚染されたがれきの処理は安全なの？
- がれきの放射線はサンプル検査で安全？
- がれき処理にはどんな問題があるの？
- テレビ・新聞のイメージや報道を信じていいの？
- 受入れるごみ処理施設って、安全なの？
- 政府の言うこと信じていいの？
- 拡散された放射性物質は東京電力の所有物では？

・ 駐車場に限りがあります。できるだけ公共機関で起こしてください

・ 託児は人数に制限がございます。託児のご予約は野中（090-3788-4467）まで。